

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 208

2024年1月27日

さいかみ
塞の神まつり(邑町地区)

12月
定例会

じゅわ〜と
にゅうぜん

主な内容

補正予算の概要 …… 2P

常任委員会レポート …… 5P

代表・一般質問(6議員) …… 8P

新たな組織構成 …… 14P



第2弾発行（30%のプレミアム率）

12月定例会の
あらまし

12月定例会は、5日から20日までの16日間開会し、町長から提案された令和5年度補正予算5件、条例の制定や一部改正など議案12件を審議し、すべて可決した。

また、9月定例会で継続審査とした令和4年度決算6件を認定した。

補正予算の概要

一般会計補正予算の主な内容は、物価高騰対策として、家計の経済的支援や地域経済の活性化を図るためのプレミアム商品券の発行、低所得世帯への給付金支給などである。

歳入、歳出ともに12月5日提案の補正予算第7号で3億7930万円、20日提案の同第8号で5682万5千円を追加し、総額143億8194万4千円とした。

◎主な事業

○地域経済等支援事業費 6146万円

プレミアム率30%のプレミアム商品券を発行する。1セット6500円分の商品券を5000円で販売する。（一人6セットまで）

○住民税非課税世帯等物価高騰支援事業費

1億7283万円

低所得世帯を支援するため、令和5年度住民税非課税世帯等に対し、一世帯あたり7万円、18歳以下（高校生相当）の子ども

一人につき5万円を加算して給付する。

また、住民税均等割のみ課税される世帯についても、一世帯あたり10万円、18歳以下（高校生相当）の子ども一人につき5万円を加算して給付する。

○すこやか食育事業費 12万円

JＡみな穂からの寄付金「入善ジャンボ西瓜プロジェクト」により、町内保育所に食育啓発用おもちゃの購入費を計上する。

条例の制定

次の条例案を審議した。

- 入善町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 入善町下水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 入善町簡易水道事業の設置等に関する条例及び入善町下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

賛成全員で可決

条例の一部改正

次の条例の一部改正案を審議した。

- 入善町の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 入善町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例及び入善町議会議員の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
- 入善町国民健康保険税条例の一部改正について

賛成全員で可決

令和4年度決算認定

一般会計決算は賛成多数で認定、5特別会計決算は賛成全員で認定された。

一般会計決算に関する討論

反対討論 井田 義孝 議員

ウクライナ情勢や円安、原材料の高騰による物価高で町民の生活は大変だ。

町の支援策の多くは国や県の交付金等があった際、単発的に行われてきた。子育て

令和5年度 入善町プレミアム商品券

て支援などは毎年制度が変わり、わかりづらかった。町独自の財源で恒常的な子育て支援を行うべきだ。少子化対策では、子どもを産む前に若者の生活支援をすべき。介護施設では職員不足で希望者が入所できない状態が続いている。

他方、連続した大型公共事業の借金返済は15億円を超えている。

物価高と国の悪政から生活を守る防波堤として住民生活を応援する予算編成を求めらる。

賛成討論 佐藤 一仁 議員

保育料の軽減を維持しながらも、子育て支援策として子宝支援金をはじめとして、乳幼児在宅育児支援金やひとり親家庭等子育て支援金などの支援策に加えて、小中学校体操服・制服等購入支援事業に新しく取組まれたことは、子育て世代から好評を得ているところと実感している。今後も、結婚から妊娠・出産・子育ての支援策を充実させて「子どもを産むなら入善町」「子どもを育てるなら入善町」と言われる町となることを期待する。

また、桃李、上青、ひばり野小学校のランチルームに空調設備を設置されたことは、コロナ以降を見据えた学校環境の整備として、大いに評価すべき事業だと考える。

さらには、社会経済環境が急変・激変する中において、統合保育所整備事業や役場

新庁舎整備事業に着手されたことは大いに評価する。

一方、老人福祉センターは、老朽化による風呂の改修の必要性があり、利用者数や費用対効果などを精査されて、早期に方針を決められることを指摘する。

臨時会 10月19日

10月19日に開かれた臨時会では、町長から提案された工事契約関係の議案2件を審議し、すべて可決した。

工事契約を議決

予定価格が5千万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

○下飯野地区企業用地造成工事請負契約

請負者 竹田建設株式会社
請負金額 1億5180万円

○入善町新庁舎整備事業 太陽光発電設備

工事請負契約
請負者 株式会社柿本商会 富山支店
請負金額 1億4179万円

臨時会 10月30日

10月30日に開かれた臨時会では、町長から提案された令和5年度一般会計補正予算1件を審議し、可決した。

歳入、歳出ともに7622万2千円を追加し、総額139億4581万9千円とした。

補正予算

○産地づくり推進事業費

7413万円

物価高が続く中、記録的な猛暑で水稲をはじめとする農作物の品質低下が著しいことから、町内農業者が、引き続き、高品質な農作物の生産活動に取組むことができるよう、土づくりへの支援として、10アールあたり2千円の「農作物品質向上臨時交付金」を支給する。

補正予算に関する討論

賛成討論 松澤 孝浩 議員

小規模でやっている農家は色彩選別機などが導入できず、今年度のコシヒカリは三等米での出荷が多かったと聞いている。

そのような中で、高齢化により持続できなくなった農家が離農するという状況も続いており、今回、町は土づくりに対して支援を提案されたことは高く評価する。

今回、コシヒカリの一等米比率低下の原因は何だったのか、その対策として何がするか検討していただきたい。また、コシヒカリに代わる富富富をどう生産していくかということも大きな課題である。

10月19日臨時会の議決状況

氏名		鍵田昭	池原純一	岡島功	井田義孝	本田均	中瀬淳哉	田中伸一	五十里国明	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案番号													
議案第53号	下飯野地区企業用地造成工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	入善町新庁舎整備事業 太陽光発電設備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10月30日臨時会の議決状況

氏名		鍵田昭	池原純一	岡島功	井田義孝	中瀬淳哉	田中伸一	五十里国明	野島浩	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案番号													
議案第55号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会の議決状況

氏名		鍵田昭	池原純一	岡島功	井田義孝	中瀬淳哉	田中伸一	五十里国明	野島浩	佐藤一仁	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案番号													
議案第47号	令和4年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第48号	令和4年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和4年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和4年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和4年度入善町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和4年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和5年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度入善町育英奨学資金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和5年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	入善町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	入善町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	入善町簡易水道事業の設置等に関する条例及び入善町下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対

12月定例会の議決状況

議案番号	氏名	鍵田 昭	池原 純一	岡島 功	井田 義孝	中瀬 淳哉	田中 伸一	五十里 国明	野島 浩	佐藤 一仁	松澤 孝浩	松田 俊弘	元島 正隆
議案第63号	入善町の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	入善町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例及び入善町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和5年度入善町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	入善町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	入善町役場新庁舎 備品(その1)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	入善町役場新庁舎 備品(その2)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	入善町役場新庁舎 備品(その3)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	入善町役場新庁舎 備品(その4)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	入善町役場新庁舎 備品(その5)の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対

常任委員会レポート

総務 常任委員会

「富富富」生産拡大 乾燥調製施設整備 支援事業補助金

Q いつから開始した事業で、選定基準はどうなっているか。

A 令和5年度から開始された県事業であり、拡大面積の設定面積に応じて補助上限が設定されていて、作付面積が前年度比3ヘクタール以上拡大する場合に対して補助対象となる。

Q 今年度5ヘクタール作付していて、来年度8ヘクタール以上を目標として作付すれば補助対象となるのか。

A そのとおりだ。ほかの例でいえば、今年度作付していなかったが、来年度に新たに3ヘ

クタール以上を目標として作付すれば補助対象となる。ただし、令和6年度以降は申込過多の場合は、点数査定により交付決定する可能性がある。

庁舎書類のペーパーレス化について

Q 文書等電子化業務委託料について、既存の書類はスキャンしたら処分し、電子データで保管管理するのか。

A 令和5年度に文書の保管状況を調査したところ、A4サイズのチューブファイルが約2万2千冊あり、基本的に全て電子化する計画である。併せて、保存年数に応じて、不要な書類は廃棄を進めている。なお、

永年保存書類や補助金関係書類、A1サイズの図面は先行して電子化を進める。

また、データ保存先は、現在使用しているファイルサーバーとは別サーバーへ保存する予定だ。訪問入浴介護サービスの現状は

Q 訪問入浴サービスをを行う町内業者はいくつか。

A 町内の事業所は令和3年8月で廃業され、それ以降は滑川市内の事業所に対応してもらっている。

また、8月から横山地内のデイサービスでも、少しではあるが、対応していると聞いている。

住民税非課税世帯等
物価高騰支援給付金
について

Q 給付金は町内世帯の何%くらいが対象となるのか。
A 入善全体の18%程度が対象となる。

児童発達支援予算の内容は

Q 魚津市で建設している発達支援施設に対する補正予算か。
A 施設建設に対しての予算ではなく、サービスの利用増に対する給付になる。

Q 入善から通える児童発達支援センターはどこか。
A 県内には福祉型が5ヶ所、医療型が2ヶ所指定されている。

魚津市のつくし学園や、県リハビリテーション病院へ通所している。

デジタル手続法によるシステム改修の内容は

Q マイナンバーの何が変わるのか。
A 戸籍・住民票にフリガナが記載されることになる。令和8年頃までかけて作業をすすめることになる。

Q 住民は手続きが必要なのか。
A 令和7年度を目前にフリガナ確認依頼を郵送する予定でいる。回答がない場合は現在、住民基本台帳に登録されたフリガナを反映させる予定である。



マイナンバーカード

産業教育 常任委員会

「富富富」の生産拡大を

Q 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業で補助金交付は何件だったか。
A 申請は2件で、農事組合法人1件と個人1件だ。

Q 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業は、今後広がりを見せていくと思うか。
A この事業は、令和5年度に県が立ち上げた事業だ。現時点で来年度に申請を検討したいというところで4件の相談を受けている。

Q JAみな穂のライスセンターで米を取り扱っているのは、上原の1カ所だけだと思うが、青木の豆乾燥施設を「富富富」専用に変えることは可能か。
A JAみな穂管内では上原、大家庄、飯野

の3カ所に米の乾燥施設を有しており、富富富は飯野を利用している。（現在は飯野の施設が故障のため、上原で乾燥している）

第2弾 入善町プレミアム商品券は

Q 入善町プレミアム商品券第2弾発行事業は、1人6セットまで購入可能だが、複数回に分けて購入はできないか。
A はがきかWEBのどちらかで応募できる。購入は期間中であれば複数回に分けることも可能だ。

Q プレミアム商品券の販売先は。
A 商品券の販売先は、商工会の他に、フレンドリーショップいかしま、コスモ21、JAみな穂中央、西部、南部で購入することができる。約250店舗の登録店

で使用できる。
Q 応募期間が1月24日から2月15日と短い。が閲覧板等でも周知してはどうか。
A ケーブルテレビや町ホームページ、1月27日に発行される町広報2月号などで周知していく。

Q 今回は国補正予算を待っていたこともあり、この時期になってしまっただが、年度末や年度初めに使っていたらばと考えている。周知方法についても町広報以外にも含めて検討する。
Q 目標は完売だと思いが、売れ残った場合はどうするのか。
A 今回は3万6千セットを販売するが、残りそうな場合は2次募集を考える。

Q 1枚あたり500円の商品券だが、取扱店舗から苦情等はないか。
A 枚数も増えて店舗の負担は増えるが、1000円券よりも500円券の方が使いやすいということ、今回は500円券とした。



プレミアム商品券（※画像は第1弾商品券）

山本さんから山本育英奨学基金へ多額の寄付

Q 山本さんからの寄付金総額はいくらか。
A 今回の3千万円を含めて、総額で1億2630万円だ。

令和4年度決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の過程

9月21日から5回にわたり決算特別委員会を開催した。

委員会では決算添付書類等の説明を受け質疑を行った。黒東小学校ランチルーム空調設備および老人福祉センターを視察した。

さらに、10月24日には総括質疑、討論、採決を行い、一般会計は賛成多数で、5特別会計は全員賛成で、それぞれ認定すべきものと決した。

審査報告

令和4年度は、3年目を迎えたコロナ禍への対応が喫緊の課題となり、各種事業・行事の中止など、日常生活に多くの我慢を強いられた。加えて、世界的な原油・原材料価格の高騰や急速な円安により、事業者の収益悪化や家計の圧迫を招くなど、コロナ禍からの経済回復に水を差された形となった。

町は、感染症対策として、ワクチン接種や、感染者等への生活必需品の支援などを実施した。

物価高騰対策として、子育て世帯への商品券支給、学校給食費に対する補助金増額、非課税世帯への給付金支給、事業者を支援し、地域経済対策に積極的に取組んだ。

また、第7次総合計画に基づき、とうり保育所や海洋深層水取水施設の整備、役場新庁舎の整備を進めるなど、積極的に未来への投資を行っていることに対し、高く評価する。

一般会計の決算は、歳入が約127億5900万円、歳出が約122億6300万円となり、当町の財政状況は概ね健全性が保たれていると判断した。

これからも、役場新庁舎整備や海洋深層水取水施設整備などの大型事業が続くが、行財政改革と両立を図り、人口減少対策など町政の重要

課題に取組んでいただきたい。

主な審査意見

人口減少対策について

結婚支援施策への先進的な取組みや、子育て支援金、保育料の負担軽減をはじめとした厚い子育て支援など、全国でもトップランナーである。今以上に、入善町に住みたい、入善町で子育てがしたいと思ってもらえるよう、積極的な施策を展開していただきたい。

老人福祉センター入浴施設の運営

老人福祉センターの入浴施設は、近年は利用者が大変少なく、現在、配管の水漏れのために運営を休止しており、再開には大規模な修繕費が必要となる見込みである。

多額の予算を投じてまで修繕すべきかを総合的な観点から十分に検討され、入浴施設の廃止も含めて、今後の施設のあり方について適切に判断されたい。

空き家対策の強化

町内の空き家件数は増加の一途をたどっている。

適正な空き家管理を求めるとともに、管理がなされず、倒壊の危険性がある空き家に対して、どうすればより実効性のある対応が可能となるのかを研究し、対策を強化していただきたい。

運転免許返納高齢者公共交通支援事業

運転免許を返納した高齢者に交付している公共交通利用券は、公共交通の利用促進に加え、高齢者の外出支援にも大きな効果を上げているが、その利用率は7割を下回っている。利用券の用途拡大なども含めて、ニーズに応じた使いやすい助成制度への改

善を検討していただきたい。

その他

町税や使用料などの滞納については、税の公平性や、受益と負担の公平性に鑑み、不能欠損に至ることのないよう努めてほしい。

また、財政運営では、近年実施した大型事業の償還が始まり、今後は公債費の増加が懸念され、注視が必要だ。

町の発展に資する事業については、今後も有利な財源を最大限に活用しながら計画的に取組んでいただきたい。



老人福祉センターの入浴施設



元島 正隆 議員（会派 アクト）

合併70周年を終えた感想と10年後の未来像は

町長 住んで良かったと、笑顔で喜びを分かち合うことができる町づくりを目指す

問 節目を終えた合併70周年記念と総合計画における来年度予算編成は、**笹島町長** 多く記念事業を開催し、町内外の

延べ12万8千人の参加と20年ぶりの名誉町民として泉英明氏を迎え、町民の皆さんと一体感の醸成につながった。

問 コシヒカリの一等米比率が最低となった。農家収入の現状と今後の稲作の取組みを示せ。
長島がんばる農政課長 昨年と比較すると約

今後の農業政策として県と同様、富富富への転換は必須と考えている。早い段階で、コシヒカ

イベントで回復傾向である。じょうべのま遺跡公園は、浄化センターの風力発電や洋上風力発電の風車、壮大な北アルプスが広がる景観など新たな観光に繋がることから遺跡の在り方も踏まえて今後、調査を進めていきたいと考えている。



杉沢の沢スギ

第7次総合計画において「扇状地に夢と笑顔があふれるまち入善く子どもたちの未来のために」を町が目指す将来像として、全力で町政運営に当たる。来年度においても、町内外に向けて、町の魅力を最大限に伝えることができる大胆な施策に予算の重点配分を図っている。

9200万円の収入減に加え肥料や燃料、資機材の高騰が続ぎ、農業経営に大きな影響が出ている。田植えをより遅い時期に行い、出穂後に高温が予想される場合、追肥を施用することなど関係機関と連携し指導してい

香り高い歴史と文化の町入善の現状と今後は文化・観光的施設などの在り方を検証していく

平成27年に杉沢の沢スギ整備マニュアルを策定し、沢スギをブロックごとに樹木の伐採などを行い、その事業終了後は、通常管理を行ってきた。しかし、コロナ過においてボランティアの参加人数が激減し、十分な保全ができていない状況であり、まずは調査に取組み、郷土の宝である沢スギを守っていききたいと考えている。

役場新庁舎は予定通り3月末に竣工できるか

町長 遅れはあるが年度内の工事完了と
連休明けの開庁方針に変更はない

問 役場新庁舎整備事業で工事の遅れが生じている。予定通りに、3月末に工事を完了して連休明けの業務開始は可能か。



3月竣工に向けて作業が急がれる役場新庁舎

答 町長 現在、建築主
体工事で約20日間、電気
設備工事で約一カ月、給
排水衛生設備工事で半
月、空調設備工事で約一
カ月の遅れがある。まだ
工期の残りが3カ月ある
ので、受注業者も、施工
体制や工程を見直すな
ど、迅速化に努めている。
年度末の工事完了と連
休明けの業務開始の方針
に変更はない。

新庁舎整備の総事業費
と町負担総額はどの程
度か
費用42億3650万円
と負担34億8890万
円だ

問 この事業の費用総額
と町の負担総額はどの程
度か

度になると試算するか。
町長 令和4年2月に、
総額39億5千万円余の
計画額を示したが、社
会・経済環境の急激な変
化に伴い、現時点で、約
42億3650万円になる
と見込んでいる。

この金額に対し、借入
金は35億9640万円と
見込み、元利償還総額は
約45億6500万円にな
ると試算した。

この償還金に対して
約16億3400万円の
交付税が見込まれるこ
とから、差し引いた
29億3100万円が償還
金に係る町の負担額とな
る。この金額に町一般財
源からの約5億5790

万円を加えた34億889
0万円が町の負担総額に
なると試算している。

エレベーターの設置な
ど学校のバリアフリー
化を
多額の費用や学校の構
造面からの協議も必要

問 町内小中学校のバリ
アフリー化の現状と、校
内にエレベーターを設
置するなど、今後の取組
みへの方針はあるのか。
小川教育長 町内の小中
学校では、これまで必要
に応じた大規模改造を
行ってきた。バリアフ
リー化として、校舎玄関
のスロープの設置や、障
がい者用として使用でき
る多目的トイレ、廊下の
手すりなども設置した。

今後の取組みについて
は、障がいのある子ども
が就学する際に、保護者
と学校が十分に協議を重
ねて、必要な措置を講
じることになる。

エレベーターを設置す
る場合は、国の補助を受
けながらの整備になる
と思われるが、多額の費
用や校舎の構造面からの
協議も必要だ。

一方で、必要な設備と
合わせて、障がいのある
子どもが、自立して学校
生活を送られるように支
援していくことも重要
だ。

さまざまな観点から、
障がいのある子どもと他
の子どもたちが、ともに
学べる教育環境を整えて
いきたい。



佐藤 一仁 議員(会派 自民清流会)



危険な老朽空き家

物価高騰の中で町内企業の経営や賃金はどうか

町長

影響は受けながら
大きな悪化はみられない



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）

問 ウクライナ侵略や円安で原材料の高騰が続き値上げが止まらない。町内企業の経営状況と賃金はどうか。

コロナ対策の無利子無担保のゼロゼロ融資の返済開始の影響はどうか。
笹島町長 町内の主要17社のうち今後増益見込みが3社、横ばい9社、減益見込みが2社だ。賃金は11社で0・1%増と、物価高騰の影響を受けつつも大きな悪化はみられない。ゼロゼロ融資の返済も順調だ。

問 町民税非課税世帯は増えているのか。
町長 令和元年から89世帯増え、令和5年度は1792世帯となっている。

破損や動物の侵入が見られる空き家への対策は管理者に情報提供し適切な管理をお願いしている。

問 町では平成26、27年に空き家等実態調査を行い対策計画を策定、空き家バンク制度を設け活用を進めている。空き家バンク登録の空き家の利用状況はどうか。
一島住まい・まちづくり課長

令和3年度は登録25件、契約10件、令和4年度は登録28件、契約14件、令和5年は11月までに登録45件、契約13件だ。このうち町外からの転入は令和3年度は4世帯、令和4年度は3世帯、令和

5年は10世帯だ。
問 そもそも登録数が少なく管理されていない空き家が多い。危険度3、4ではなく1、2の空き家でも破損や動物の侵入、不法投棄がみられる。町としてどう対策するか。

一島課長 空き家バンクを活用しての購入、改修や町外からの転入に助成し、貸し手にも補助金がある。固定資産税の納税通知書に制度紹介チラシを同封したり現況写真や適切管理のお願いを送付している。

危険度3、4空き家の解体費助成や解体後の固定資産税増額分も3年間補助している。今後とも適正管理に努めていく。

国 町は準要保護家庭の国の制度に準じて計算

問 町は準要保護家庭の

子どもに就学援助金を支給しており、入学前には学用品を購入するための入学準備金が支給される。認定の基となっている生活保護では、6歳児をもつ家庭は5歳児よりお金がかかることから、ある程度の収入があっても生活保護の対象になるが5歳児で計算すると保護対象と認定されない場合がある。

町では12月31日の年齢で計算しており、1〜3月に生まれた5歳児の家庭では入学準備金を受け取れない可能性がある。入学時には全員6歳なのだから6歳で計算すべきだ。

田中教育委員会事務局長 入学準備金を支給している方々は、児童扶養手当の受給者が大半であり漏れはないと考える。算定は国の制度に準じて12月末としている。

中小・小規模事業者への町独自の補助金の創設を
キラキラ商工 効果的な支援策の検証に
観光課長 取組んでいきたい



町の中心商店街

問 地域にとって大切な中小・小規模事業者が持続的に発展できるように町独自の補助金を創設すべきと考えるがどうか。

若林キラキラ商工観光課長

自由度の高い持続化補助金のような制度の創設は、まずは、国や県の支援制度を活用してもらったことを前提としており、検討には至っていない。

今後も、現行の町独自の支援制度を継続するとともに、より効果的な支援策の検証に引き続き取り組んでいきたい。

中心市街地における住宅施策を行うべきだ

調査・検証を続けていきたい

問 町は中心市街地の店舗を増やす施策は行っているが、同時に人を増やす施策をすべきだ。



中瀬 淳哉 議員

土地購入補助など中心市街地における住宅施策を行うべきと考えるがどうか。

一島住まい・まちづくり課長

町では、大きく3つの住宅施策を実施しているが、中心市街地での住居取得を勧めるような、まちなかエリアを指定した加算などは設けていない。当面、現行の補助制度で対応していきたい。

しかし他市町村では、中心市街地の居住に対し加算金を設けている事例もあると聞いている。

今後も調査・検証を続けていきたい。

全町的な創業支援を行うべきだ

空き家活用新規創業応援事業補助金がある

問 全町的な創業支援を行うべきと考えるがどうか。

若林課長 町には「入善町元気な商店街再生事業補助金」や「まちなか新店舗等立地応援事業補助金」がある。中心市街地に限った施策だが、空き店舗や空き家対策などの効果もあると考えている。

全町的な創業支援としては「入善町空き家活用新規創業応援事業補助金」がある。制度創設以来、実績はまたないが、全町的に支援が受けられるということをしつかり

とPRしていきたい。

空き店舗などを調査し情報提供すべきだ

調査・研究を行ってきたい

問 空き店舗や空き倉庫、空き事務所を調査・把握し、情報提供すべきではないか。

若林課長 町内での空き店舗や空き倉庫の状況は、町では調査を行っていないため把握していない。商工会から提供の中心市街地の空き店舗情報のみを把握している。

全町的な調査については、方法や調査後の定期的な更新などの課題があり、費用などについても、検証する必要がある。

今後、調査・研究を行ってきたい。



タイヤショベルで除雪

低すぎる除雪委託料 黒部市並みに引上げを
建設課長 社会情勢に応じた適正な単価で契約する



松田 俊弘 議員

問 町が除雪を委託している業者数の推移はどうか。
高源建設課長 除雪機械を所有している業者

は、平成25年では39社だったが、今年度は31社に減っている。

問 除雪委託料には、運転手の賃金や機械の借り上げ料などを含む機械稼働費がある。

入善町の平均的な機械稼働費の時間単価は、昼が2万円、夜間は2万5千円ほどだが、黒部市と比べ7千円から8千円も低い。

除雪業者の確保のためにも、町の単価を黒部市並みに引き上げるべきだ。

高源課長 除雪単価は、物価や人件費の増などに応じ見直している。

今後も社会情勢に応じ

た適正な単価で契約し、除雪業者の確保に努めていく。

高温耐性米の作付け拡大は柔軟で十分な対応を豊富の種もみは十分に用意できる

問 県とJAは来年の高温耐性米の作付面積を、現在の20%から30%以上に引き上げるとした。

高温被害は地域で差があり、農家の希望に応じた柔軟で十分な対応が必要だ。

長島がんばる農政課長

JAみな穂では、来年に豊富などの作付けが大幅に増えても、十分にえられる種子が用意できるとのことだ。

問 入善町の土地は砂質土で農産物の生産に不利だ。農家の有機肥料の散布など地力向上への支援を強めるべきだ。

長島課長 町では、従前からJAみな穂と連携し、元気な土づくり推進事業を実施している。

また、来年に向けた土づくり支援に品質向上臨時交付金を予算化した。

町内の不登校といじめ状況は

不登校は全国や県平均より少ない

問 令和3年度に全国でも県内でも不登校といじめの件数は過去最高となったと報じられているが、町内の状況はどうか。

小川教育長 小学校では、令和4年度における

全国平均の不登校の出現率は1・7%、県平均で1・8%だが、町では0・9%だ。

また、中学校では、全

国平均の6・0%、県平均の5・2%に対し、町では4・2%だ。町のいじめの出現率は1・8%だが、現在は、すべて解消されている。

問 困難を抱える生徒の対応に、教員が力ウンセラと十分協議する時間が持てないと聞くが実態はどうか。

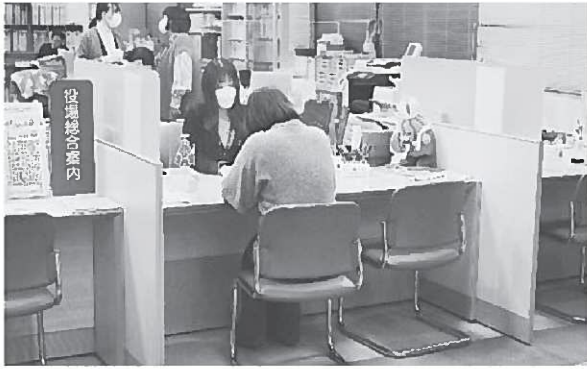
教育長 スクールカウンセラーの配置時間は限られるため、計画的に情報共有や面談、協議の時間を設定している。

問 スクールカウンセラーは県が派遣しているが、中学校小学校でそれぞれ週に8時間と4時間程度で少なすぎる。

町が独自にスクールカウンセラーを確保することを検討すべきだ。

教育長 スタディメイトなどが多く配置されており、独自の配置は現状では考えていない。

新庁舎において
どのような行政サービスを提供できるのか
町長 ワンフロアサービスで利便性アップ



窓口の利便性アップを目指して

問 新庁舎の完成も間近に迫ってきた。災害拠点としての耐震化が大きな目的とはいえ、町民の期待も大きい。竣工後いかに

町民を迎え入れ、行政サービスを提供できるのか。

笹島町長 「町民が利用しやすい庁舎」を基本方針としている。まず、正面玄関前に総合案内を設置し、1階に町民系窓口と事業系窓口を設置するとともに、プライバシーに配慮した相談室や会議室などを配置し各種手続きや相談、打合わせなどが多いサービス分野を1階に集約することで、来庁者の誰もが利用しやすい「ワンフロア・サービス」の実現を目指す。

問 この機会に更なる利便性を考慮したワンストップサービスを検討し

てはどうか。

町長 ワンストップサービスは、利用者にとって

窓口を歩き来する必要がなくなり、満足度も非常に高まるものと考えている。一方、その実現については、組織体制の大きな変更が必要となり、総合窓口に対応したシステムの導入、デジタルツールの活用など様々な課題もあり、新庁舎整備庁内検討委員会などでこれまでも導入を検討した経緯がある。

問 必要性については十分に認識しており、今後、模索していきたい。

問 各課受付で書類記入の面倒さを町民から聞く

ことがある。デジタルを有効に活用して町民・職員ともにDXを推進することも検討してはどうか。

岡島企画財政課長 一部

市町では「書かない窓口システム」が導入されている。来庁の際にパソコンやスマートフォンから事前申請することで面倒な書類手続きを省く事ができる。また、マイナンバーカードの利活用などの先行事例もあり、今後検討してみたい。

線状降水帯発生時の流域治水についての考え方は

流域全域の関係者が協議し水害を軽減させる

問 今年、県西部で初めて線状降水帯が発生した。黒部川・舟川流域上空に線状降水帯が発生した場合の流域治水の考え方は。

る甚大な水害リスクに備え、集水域と河川区域のみならず、氾濫域をも含め一つの流域と捉え、国・県・市町村・企業など流域全体の関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる取組みが流域治水プロジェクトである。

問 線状降水帯発生時の舟川ダム事前放流についての考え方は。

高源課長 県では、令和3年度に舟川ダム事前放流実施要領を策定し、その体制を整えている。

ダムにおける予測降雨量が24時間当たり220mm以上となった場合に実施することとしている。

町としても、事前放流は治水効果が高いと考えられており、豪雨時には流域の安全が確保されるよう県と連携を密にするよう考えている。



野島 浩 議員

臨時議会
10月30日

新たな組織構成
(令和5年10月30日より)

就任ご挨拶

議長 本田 均
副議長 池原 純一

この度、議員各位のご推挙により、議長、副議長の重責を担うことになりました。身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。

地域の発展と住民の福祉向上に全力で尽力し、公正かつ透明な議会運営を心掛けます。皆様の声を大切にし、協力と対話を基にした政策立案に努め、地域社会の課題に真摯に向き合いたいと考えております。また、皆様と共に築く地域社会の未来を共有し、協力し合いながら良き発展を目指してまいります。

今後、誠実な姿勢で皆様に信頼される議会を築き上げるべく尽力いたし、皆様と共に歩んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

☆総務常任委員会

委員長 鍵田 昭
副委員長 松田 俊弘
委員 松澤 孝浩
佐藤 一仁
中瀬 淳哉
本田 均

☆産業教育常任委員会

委員長 五十里 国明
副委員長 岡島 功
委員 元島 正隆
野島 浩
田中 伸一
井田 義孝
池原 純一

☆議会運営委員会

委員長 元島 正隆
副委員長 佐藤 一仁
委員 松田 俊弘
野島 浩
五十里 国明
池原 純一
鍵田 昭

☆議会改革特別委員会

委員長 野島 浩
副委員長 田中 伸一
委員 全議員

☆庁舎整備検討特別委員会

委員長 松澤 孝浩
副委員長 五十里 国明
委員 全議員

☆交通網対策特別委員会

委員長 松澤 孝浩
副委員長 岡島 功
委員 野島 浩
五十里 国明
田中 伸一
本田 均
井田 義孝

☆環境・上下水道対策特別委員会

委員長 元島 正隆
副委員長 鍵田 昭
委員 松田 俊弘
佐藤 一仁
中瀬 淳哉
池原 純一

☆議会広報編集特別委員会

委員長 池原 純一
副委員長 井田 義孝
委員 五十里 国明
田中 伸一
中瀬 淳哉
鍵田 昭

☆町監査委員（議会選出）

委員 田中 伸一

☆新川広域圏事務組合議会

議員 本田 均
松澤 孝浩
佐藤 一仁

☆新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合議会

議員 本田 均
池原 純一
鍵田 昭

☆新川地域消防組合議会

議員 本田 均
元島 正隆
野島 浩

編集の窓

元旦に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回から、新メンバーで議会広報編集特別委員会がスタートしました。皆様に読みやすくわかりやすい内容の議会広報が届くよう、頑張っていきます。



議会広報編集特別委員会
議長 本田 均
委員長 池原 純一
副委員長 井田 義孝
委員 五十里 国明
田中 伸一
中瀬 淳哉
鍵田 昭

議会だより入善

令和6年1月27日 発行 千939-0693 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)4806 FAX0765(72)4711